

令和6年3月22日

瀬戸内市議会議長

小谷 和志 様

瀬戸内市議会議員 川勝 浩子

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和6年1月22日～令和6年1月23日
研修会名	第3回市町村議会議員特別セミナー
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・ 内容	「福祉」というテーマのもと、今後の我が市の未来と議員に求められる役割について、多角的に考えるための研修。 *ジェンダー論で笑って少子高齢社会を乗り切ろう 東京大学大学院総合文化研究科 国際社会科学専攻 教授 瀬地山 角 氏 *誰もが役割をもち生きていく「地域共生社会」の実現に向けて 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏 *わが国の財政について 神奈川大学特別招聘教授 前財務事務次官 矢野 康治 氏 *データから読み解く日本の少子化の要因 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学講座 准教授 坂元 晴香 氏



所 感

*ジェンダーギャップ指数、政治では 146 カ国中 138 位。議会などでも、男女比が変われば、結論が変わる。(例えば、サービスエリアの女子トイレの行列問題などでも、すぐ解決するだろう) もっと女性が活躍できるように、一人一人が、活躍できる市になるためには、と考えていきたい。

*地域共生社会の実現に向けてでは、普段の暮らしに、人と人とのつながりや互いを気かけ、ちょっと困ったことがあると支えたり支えられたり、という関係がある。こうした関係が豊かな地域ほど安心・安全感が高いが、これは当たり前すぎて、自覚されていない場合が多い。こうした中に「通いの場」「生活支援サービス」に相当するものが多数あり、これを大切にしたいうえで仕組みづくりをすること。小さな地域の集まりに目を向け、支えていくことも大事だと感じた。

*わが国の財政は相当やばい。①財政は、やばい状況。傷んでいる。

②世界最悪なのに楽観論が流布している。ということが、わかった。

*日本の少子化の要因は、生き方の多様化にもある。未婚者の増加、恋愛・結婚の格差、結婚相手に求めるもの、子どもの数にも現れる格差、などデータで確認した。少子化対策として何をすれば良いか、子供のいる世帯への経済的支援や、育児制度などいろいろと多方面から考えていきたい。